

犯罪被害

「給付拡充、今国会中に」

グアム島殺傷 横田さん犠牲 同級生ら野党に要望

今年2月に米領グアム島で起きた無差別殺傷事件で犠牲となった横田仁志さん(当時51歳)の同級生らが11日、参院議員会館を訪れ、海外で犯罪被害に遭った日本人にも給付金制度の適用範囲を拡充できるよう野党議員に要望した。民主、日本維新の会、みんななど野党8党は先月27日、犯罪被害者等給付金支給法改正案を参院に提出しており、同級生らは「ぜひ今国会中の成立を目指してほしい」と訴えた。

【佐久間一輝】

要望したのは、県立 目黒区と白鳥敦さん(当時36歳)の父晴弘さん(73)と品川区の羽生唯仁さん(52)の2人。現行の犯罪被害者等

か、2001年9月の米同時多発テロで亡くなった杉山陽一さん(当時34歳)の父住山一貞さん(76)と東京都

もいる。これから海外で事件に遭うかもしれない若い人のためにも法改正し、給付制度を拡大していただきたい」と話した。また、同時多発テロで死亡した24人も対象外になっており、住山さんは被害者は同じ日本人。海外で理不尽な状況に陥った同胞を助けてもらいたい」と求めた。

野党8党の改正案では、給付金の適用範囲を日本国外での犯罪被害者にも拡大するよう求めている。さらに、

海外で犯罪に巻き込まれた場合、事実関係の調査が困難なことから、野党改正案は「公安委員会は外務相などに対し、必要な協力を求めることができる」と盛り込む一方、正当な理由なく危険が予測される地域に滞在した場合には給付金を支給しないことを明記した。

要望を聞いたみんなの党の小野次郎参院議員は「今回の改正案提出を(法改正の)突破口にしたい」と話し、民主党の藤田幸久参院議員は「与党内にも改正案の理解者はいる。自民、公明と詰めて、何とか議員立法で進めていきたい」と述べた。



犯給法改正を訴える羽生唯仁さん(中央) — 東京都千代田区永田町の参院議員会館で



被害者支援の拡充を訴える羽生唯仁さん＝東京・永田町の参院議員会館

犯罪被害者

グアム殺傷
横田さん友人ら

早急な支援拡充訴え 法改正へ意見聴く

海外での犯罪被害者を救済する犯罪被害者等給付金支給法改正案を参院に提出した野党8党の議員らが11日、東京都内で被害者遺族らから意見を聴いた。

援拡充を訴えた。

横田さんの高校時代の同級生らでつくる

「海外における犯罪被害者等を支援する会」代表の羽生唯仁さん

2月のグアム殺傷事件で犠牲になった潮来市潮来、横田仁志さん(当時51)の友人ら5人も出席し、早急な支

援拡充を訴えた。当事者らの声を参考にして、法改正を政府にアピールするのが狙い。議員側は本県選出の藤田幸久氏(民主)

の同級生らでつくる「海外における犯罪被害者等を支援する会」代表の羽生唯仁さん

つと変わってしまう。窓口で心のケアをしてほしい」と訴えた。議員側は「与党にも趣旨に賛同してくれる議員がいる。今国会の会期は残り少ないが、成立までいかなくても衆院での継続審議など

ほかに、小野次郎氏(みんな)が参

加。横田さんの友人らと、2001年の米同時多発テロの日本人犠牲者遺族も出席した。

は、給付金の適用範囲拡大のほかにも、「身近な相談窓口の設置も大きな要望」と強調。

た。意見聴取の終了後、羽生さんは「国での動きがここまで来ていると実感できた。有意義

加。横田さんの友人らと、2001年の米同時多発テロの日本人犠牲者遺族も出席した。

は、給付金の適用範囲拡大のほかにも、「身近な相談窓口の設置も大きな要望」と強調。

た。意見聴取の終了後、羽生さんは「国での動きがここまで来ていると実感できた。有意義

た。意見聴取の終了後、羽生さんは「国での動きがここまで来ていると実感できた。有意義

た。意見聴取の終了後、羽生さんは「国での動きがここまで来ていると実感できた。有意義

た。意見聴取の終了後、羽生さんは「国での動きがここまで来ていると実感できた。有意義

た。意見聴取の終了後、羽生さんは「国での動きがここまで来ていると実感できた。有意義

た。意見聴取の終了後、羽生さんは「国での動きがここまで来ていると実感できた。有意義

た。意見聴取の終了後、羽生さんは「国での動きがここまで来ていると実感できた。有意義

た。意見聴取の終了後、羽生さんは「国での動きがここまで来ていると実感できた。有意義

た。意見聴取の終了後、羽生さんは「国での動きがここまで来ていると実感できた。有意義

た。意見聴取の終了後、羽生さんは「国での動きがここまで来ていると実感できた。有意義

だった」と話した。
(村田知宏)

野党国会議員に

「法改正を」訴え

グアム犠牲者同級生ら

米領グアムで殺害された
潮来市の横田仁志さん(当

時51)の高校の同級生らでつくる「海外における犯罪被害者を支援する会」の羽生唯仁代表ら5人が11日、野党超党派の国会議員によるヒアリングで意見を述べた。野党8党は、国外で犯罪に巻き込まれた被害者にも公的支援が受けられるよう法律の改正案を参院に提出している。

羽生さんは会場の参院議員会館で、横田さんの妻美智子さん(51)がリハビリに取り組んでいる様子などを説明。「まずは市町村に被害者らの相談窓口が必要。これから海外へ行く人たちのためにも法改正は必要だ」と訴えた。